

エッス ころころがく

発掘調査 っていったい 何だろう？

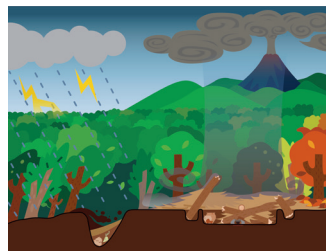


私たちが暮らしている所の地下には、昔の人が建てた建物などの跡(遺構)や、昔の人が使っていた道具(遺物)などが埋まっていることがあります。こうした場所を遺跡と呼びます。私たちは生活のために道をつくったりビルを建てたりしますが、遺跡のある場所で工事をすると遺跡が壊されるおそれがあります。壊れてしまった遺跡は二度と元には戻りません。そこで、工事の前に、どんな遺構や遺物があるのかを調べて記録する必要があります。遺構は図面を描いたり写真を撮ったりして記録し、遺物は持ち帰って、どの時代のものか、どんな使い方をしていたかを詳しく調べます。こうした調査のことを発掘調査といいます。

1. みなさんの町に、遺跡があるか調べてみましょう。
2. みなさんの町で、発掘調査がおこなわれたことがあるか調べてみましょう。



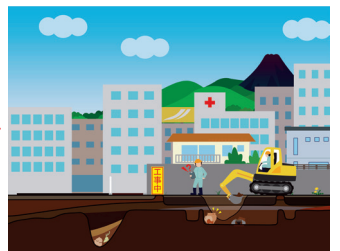
遠い遠い昔、人々が住んでいました。家を建てて暮らし、溝を掘って外から来る敵や動物などから身を守っていました。掘った溝はゴミ捨て場としても使われるようになり、壊れた土器などが捨てられました。



やがて住んでいた人々がなくなり、大雨や火山の噴火などで家は壊れ、家の柱の穴や掘った溝は埋まっていきました。



地上では昔の人々の生活の跡はかくれてしまいました。でも、地中に埋まった遺構、土器や石器などはそのまま残っていきます。



そして現代。遺跡は人類共通の貴重な財産として残っていかねばいけません。ただ、どうしても工事の関係で残せないときは、記録のための発掘調査を県や市町村がおこないます。

長崎県埋蔵文化財センター ニュース 東アジア考古学研究室



左の地図にあるように、日本や大韓民国(韓国)、中華人民共和国(中国)などの地域は「東アジア」と呼ばれています。長崎県は古くから、これらの国々と歴史的なつながりがありました。例えば、長崎市には国が指定した特別史跡である「原の辻遺跡(詳しい説明は右側を見よう!)」がありますが、この遺跡からは弥生時代を中心に東アジア交流の拠点であったこと示す土器などの遺物が多く発見されています。

そこで、長崎県は平成22(2010)年、県の埋蔵文化財センターを長崎に設置し、同時に全国でも初めてとなる「東アジア考古学研究室」を置いて、東アジア地域の考古学(遺跡や遺物によって人類の歴史を研究する学問)研究を進めています。

平成27(2015)年5月に、韓国の釜山博物館と共同研究を進める協定書を交わしました。今後も韓国や中国の大学や研究機関との共同研究をさらに進めていく予定です。



釜山博物館で協定書をかわしました

毎年「東アジア国際シンポジウム」を開催しています。平成27(2015)年は原の辻遺跡などで発見された中国貨幣について、弥生時代におこなって使われていたのかどうかを議論しました。



東アジア国際シンポジウム

長崎県の遺跡紹介! 原の辻遺跡



原の辻遺跡は、長崎市にある弥生時代の遺跡です。この遺跡は明治37(1904)年に、当時小学校の先生だった松本友雄さんによって発見されました。

「魏志倭人伝」という中国の歴史書には、弥生時代の日本の様子が書かれています。

その中にある「一支国」というクニの王都が、原の辻遺跡と特定されています。

弥生時代の日本を知る貴重な資料が数多く発見されたことから、平成12(2000)年に遺跡の中でも特に重要な遺跡である「国特別史跡」に指定されました。さらには、平成27(2015)年に認定された日本遺産「国境の島 長崎・

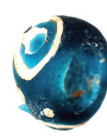
対馬・五島 ~古代からの架け橋~」における代表的な文化財の一つでもあります。

原の辻遺跡からは、国内最多の大陸系(韓国や中国でつくられた)土器、国内最多種類の中国貨幣が出土しています。

また、国内最古のトンボ玉や東アジア最古の船着き場跡が発見されたことなどもあり、今後の研究の進展に国内外の研究者が注目しています。



船着き場跡の復元模型



顕微鏡で見たトンボ玉



弥生時代の土器



センターでは毎年原の辻遺跡の発掘調査をしています

原の辻遺跡から見つかった遺物でクイズ! 読めるかな?



1. 三翼鏃
中国から伝わったといわれる「弩」という弓の矢につけるよ



2. 高坏
食べ物を乗せたといわれる台つきの土器だよ



3. 銅釧
銅でできた腕飾りだよ